

東久留米市立南町小学校 第3学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の語彙数が少ない。</li> <li>文字表記の通り読まず、自分なりに解釈して読んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の中でいくつかの言葉を辞書を使って調べる。</li> <li>東京ベーシック・ドリル（語彙）を取り入れる。</li> <li>一斉読みの中で個別に音読をする時間を設定し、確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明文や物語単元等で教師が例示し意味調べを物語単元で行う。</li> <li>●東京ベーシック・ドリルの語彙に関するページの60%行う。</li> <li>○説明文や物語単元で個別での音読テストを一人5回以上行う。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けることに課題がある。</li> <li>社会的事象について主体的に問題を解決し学習したことを生かそうとする態度が十分身に付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の中や他の中から資料を提示し読み取る場面を設定する。</li> <li>生活と関連させて振り返る場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を提示し読み取る場面を1単元に3回以上設定する。</li> <li>○これからの自分の生活で、学んだことをどう自分は生かすか言語化する場面を単元ごとに設定する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し上がりや繰り返し下がり、九九など第2学年までの学習内容の定着ができていない児童が多い。</li> <li>図形に関する言葉の知識量や認識が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京ベーシック・ドリルや補充プリントを算数ドリルタイムを中心に活用し、基礎・基本の定着を図る。</li> <li>図形の学習で図と用語を関連させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎繰り返し上がり繰り返し下がりや九九の計算のある補充プリントを学期の始めと終わりに行う。</li> <li>○図形を自分でかく活動やかき込む活動を図形単元時毎時間設定する。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然に興味を示しており、生活で学んだことを生かそうとする姿勢が見られる。</li> <li>予想が自分の生活で得た知識の範囲からなかなか広がらず、深く考えることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も生活と関連させながら学習を進めていく。</li> <li>思考する視点を提示し、既習事項を踏まえながら段階的に考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎既習事項の活用を意識して観察や実験をする場面を各単元1回以上設定する。</li> <li>●評価テストで上位層（90%以上）を5割以上に増やす。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで楽しんで取り組むことができるので、自主的にリコーダの運指をマスターできるようにする。</li> <li>歌が大好きだが、地声と自然な歌の声を区別できない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペア学習を多く取り入れて、短時間で運指をマスターする意識を徹底する。</li> <li>歌の声と地声の区別をする場面を多く設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎リコーダーの学習で70%以上の児童がペア学習で技能を習得することを目指す。</li> <li>○同じ曲を、歌う声と地声で区別して歌う時間を月に1回設ける。</li> </ul>
図画工	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで楽しんで取り組むことができるので、より表現を広げようとする姿勢を定着させたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しんでいる表現活動を学習として確認できるように「混色をするとよい」など言葉でまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○色や形など図工的な言葉を使っての振り返りカードをかける児童が50%以上を目指す。</li> </ul>

体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄棒運動や跳び箱運動など器械運動の楽しさを味わい基本的な動きや技能を身に付けていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動などで馬跳びや雲梯などを取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全授業の準備運動の内60%の場面で行う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐし運動や多様な動きを作る運動など体づくり運動では、体のかたさやバランスの取り方に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の前後で体ほぐし運動を取り入れ運動後に体が柔らかくなることを体感できる場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎全授業の整理運動の内60%の場面で行う。</li> </ul>
徳特別の教科道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文と自身の実生活を結びつきを考えることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実生活との結びつきを考える場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の中で必ず実生活に振り替える発問を行う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを他者に説明することができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との交流の場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の60%の単元で他者との交流に関する発問をする。</li> </ul>
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の場面では発音することができるが、個別に発音することに抵抗がある児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットワード、ターゲットセンテンスを言えるか、個別に発音する場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の中で1回は個別に発音する時間設定をする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その時間のめあてに対して振り返ることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてに対して振り返るように助言し、めあてに対して振り返った児童を称賛する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返りコメントで80%の児童がめあてに対してコメントしている。</li> </ul>
時間総合的な学習の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者に伝えるという観点でまとめることができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の中で、他者に伝えることを意識できる授業計画にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎単元の中で、一人1回は表現する場面を設定する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で調べまとめることの個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ方を具体的に提示し、選択して調べられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシートや新聞等で、自分で調べた内容が3項目以上になるようにする。</li> </ul>